

みんなのた場

サークル仲間 ⑫ グラウンドゴルフ大会 好ショットの快音響く

「にっこり」自治会

「しっこりホールポストを狙って」「ナイス、ショット！」。北上町十三浜の「にっこりサンパーク野球場」で7月12日、にっこり自治会主催の「第3回にっこり杯グラウンドゴルフ大会」が開かれました。小雨が降るあいにくの天気の中、会場には豪快ショットの快音が響き渡りました。

大会には、2歳から82歳までの40人が参加。5人ずつの8組に分かれ、球場内に設置された8コースを回り、ジュニア(小学生以下)、一般男子・同女子(中学生以下)の5部門で、順位を競いました。上位入賞者に豪華な景品が贈られたほか、特別賞も多数用意され、成績が発表されるたびに、参加者は大きな拍手で健闘をたたえていました。

大会は、会員の親睦イベントとして平成30年に始まり、第3回大会は今年3月に実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために延期。6月に活動自粛が緩和されたことから、検温や手指の消毒、

マスク着用などの感染防止対策を徹底して、開催にこぎつけました。にっこり自治会は、東日本大震災に伴う防災集団移転促進事業で造成された「にっこり団地」のコミュニティづくりを目指して平成29年5月に発足。団地とその近隣の計80戸の会員の健康増進、ストレス解消などを目的に、夏まつりや芋煮会、餅つき大会など年間を通じてさまざまなイベントを繰り広げています。

本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月に予定していた桜祭りが中止になりましたが、自治会の千葉宏一会長は「これまで続けてきた行事をできるだけ減らさないようにし、会員の皆さんが和気あいあいと集い、親睦を深めていけるように努めています」と話していました。



グラウンドゴルフを楽しむ参加者



豪華景品が贈られた表彰式

文化財 たんぽう ⑪

異なった地域の土器

立浜貝塚発掘調査出土遺物から

生涯学習課

立浜貝塚発掘調査報告書の刊行については、市報6月号で紹介しましたが、今回はこの発掘調査で最も多く出土した縄文時代晩期(今から3,300年前)の土器を紹介いたします。

この時期は、遮光器土偶や、青森県の亀ヶ岡遺跡出土遺物に代表される多様な器種を持つ「亀ヶ岡式土器」が繁栄し、いわゆる亀ヶ岡文化が東北地方を中心に全国に広まりました。

出土した遺物のうち深鉢形土器は、最も出土量が多くなります。このように、遺跡から発見された遺物に見られる、わずかな特徴を比較検討することにより、異なった地域とのつながりを見いだすことができます。

くピユラーな器種で、貯蔵や煮炊きに使われた生活用品です。しかしその形状は、地域によって微妙に異なっています。

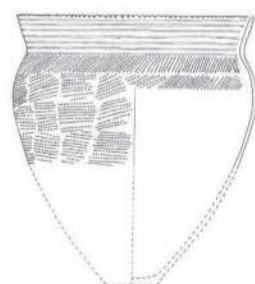
写真はこの発掘調査で出土した深鉢形土器と考えられる土器の破片ですが、

検討の結果、九年橋遺跡で紹介された土器との共通点を見いだすことができました。

また、同じような特徴を持った土器が、市内の沼津貝塚からも発見されています。



立浜貝塚出土土器破片



北上市九年橋遺跡出土深鉢型土器

まきチャンネル + プラス



北上川の水辺空間 楽しさ満喫 初の「かわべであそぼう」にぎわう

「北上川のかわべであそぼう！」(株式会社街づくりまんぼう主催)が7月23日と24日、中央二丁目の「いしのまき元気いちば」2階デッキ前の旧北上川堤防イベントスペースで開かれ、多くの来場者でにぎわいました。

初日の23日は、石巻駅から石ノ森萬画館までの「石巻マンガロード」に39体目のモニュメントとして設置される「サイクロン号&仮面ライダー1号」の実物大像のお披露目式を開催。式終了後は、親子連れが萬画館をバックに、サイクロン号にまたがって思い出の一枚を収めていました。

2日間とも、水鉄砲やけん玉などの懐かしい遊びを楽しめる「かわべミニプレーパーク」が登場したほか、蔵王町在住のシンガー・ソングライター幹mikiさんのライブやミニヨット・カヌー乗船体験、北上川釣り体験などさまざまなイベントがあり、来場者を楽しませました。

Topic of town

まちの話題

河南 大きなザリガニ捕まえ歓声

広瀨小5年生が田んぼの生き物調査



広瀨小学校の5年生34人が8月6日、学校近くの実習田で、水稻の生育と水路の生き物を調査しました。広瀨ふるさと保全会と学校が連携した農業体験・環境保全活動の一環。児童たちは、保全会員が5月に田植えしたもち米の稲の背丈、株数を調べた後、調査キットを使い水路の水質を確認。たも網で水路にすむ生き物も探し、大きなザリガニやドジョウなどを捕まえては歓声を上げていました。



雄勝 新たな地域振興拠点をPR

硯上の里で「第1回おがつ市」

「雄勝硯^{すずり}伝統産業会館」と「雄勝観光物産交流館」がある「硯上の里おがつ」で7月26日、「第1回おがつ市」が開かれました。雄勝地区中心部拠点エリアの中核として今年5月21日にオープンした2施設を内外にPRし、新たなにぎわいを創出しようと、おがつ復興市実行委員会と石巻観光協会が主催。ホヤの詰め放題や地元産海産物の格安販売などがあり、多くの来場者でにぎわいました。



石巻 石ノ森萬画館で記念日イベント

「サイボーグ009」の魅力PR

「サイボーグ009の日」の7月19日、中瀬の石ノ森萬画館で記念イベントが開かれました。昭和39年7月19日に、週刊少年キングで009の連載が始まったのを記念する企画で、萬画館では初開催。女性スタッフが白、赤、緑、青の4色の制服で来場者を出迎え、マンガの試し読みができる特設コーナーを設置。フィギュアなど約70点を展示する特別展などもあり、ファンを楽しませました。



牡鹿 「おしかホエールランド」開館

観光拠点9年4カ月ぶり復活

東日本大震災の津波に見舞われた「おしかホエールランド」が7月22日、9年4カ月ぶりに鮎川港に復活オープンしました。この日は、牡鹿半島の観光と商業の拠点エリア「ホエールタウンおしか」の3施設が出そろったことを祝う式典があり、市長ら関係者がテープカットをしました。新型コロナウイルスの影響で開館が3カ月ほど延びましたが、「鯨の町」のにぎわい創出の拠点と期待されます。



桃生 松林再生へ苗木600本植樹

植立山公園で「松の木を植えよう」

松くい虫被害で減少が進む松林を再生しようと、地域自治システム「ものう夢ネットワーク」と桃生公民館は6月28日、桃生植立山公園にアカマツの苗木600本を植樹しました。今年は新型コロナウイルスの影響で、地域住民らの参加は募らず、スタッフなどの関係者のみで、石巻地区森林組合の指導を受けながら苗木を植えました。植立山公園での植樹事業は今回で5回目となります。

